

発行11年 1月 5日

新年あけましておめでとうございます

旧年中は格別のご愛顧を賜りまことにありがとうございました。本年も変わらぬご鞭撻とご指導を賜りますよう社員一同謹んでお願い申し上げます。

昨年はデフレスパイラルの進む中で、金融機関のリストラに伴う貸し渋りによる信用不安の増大で戦々恐々する状態が、暮れの保証協会の保証による融資でもあれ小康を得て越年し新たな年を迎えました。

私たちは、バブル崩壊後日本が抜本的な対策をとらず、表面を取り繕うだけに終始してきたため、先送りしてきた問題（財政再建、不良資産処理、グローバル化に即した教育制度への改革、高齢化対策など）が山積していることを知るようになりました。景気を好くするために財政の再建を後回しにせざるを得ないのは止もう得ないことであるが、国民の理解と協力（痛みと忍耐を必要とする）を求め、推進を急がないと、衰退の一途を辿る可能性があることを多くの人が認識するようになってきました。

好む好まざるをさておいて、グローバル化はどんどん進んでいます。国際的な資本即ちマネーの動きが国の政策を根底から揺さぶってしまう現象、又、その逆に国の政策が資本に膨大な損失をもたらすことなどを見てきました。しかし、いまのグローバル化は金融と情報の分野でアメリカが主導権を握り押し進めているものと言っても過言ではありません。得意とする分野でリーダーシップをとり、その国の文化や価値観を世界共通のものとするのでしょうか。地球上には自然の力が育ててきたさまざまな人類とその文化があります。生命をもらい、育て、そして終焉を迎えるまで、なにをアイデンティティとして生きていくか、これも又絶対なるものはないでしょう。ただ、皆それぞれ必要あってこの世にある存在であります。とすると、今進められているグローバル化もその内に有する矛盾で限界のあることが考えられます。チベットはチベット、アラの神の世界はそれまた一つの世界であります。

お金は多少は必要ですが、ありあまっても罪を生むこと多く、ましてや囚われてはいけないものであります。ところが現実には自己の欲望を満たすため常に不足感があり、それが努力することの原動力になっている面もあります。しかし、いちばん望ましいのは、世のため人のためという動機で一所懸命仕事をして、その結果ついてくることではないでしょうか。

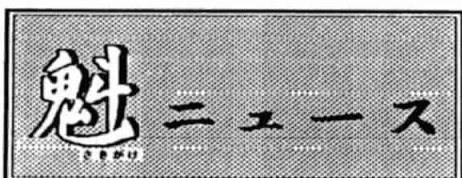
日本がそして世界が大きく変化する時代のなかで、何か世のため人のためお役に立つような仕事を一所懸命する。この気持ちを忘れずに今年一年頑張っていきたいと思えます。

本年前半はまだまだ厳しい現実と直面することが多いと思われませんが、くじけないで、2000年を迎える頃には21世紀の曙光がほのかに見えて来るよう共々に頑張っていきたいと思います。

最後に、みなさまのお会社のますますのご隆昌と社員のみなさまのご健勝を心よりお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

☆ 1月の魁基準値は210円/kgです。

12月の電気銅建値は1～3日230円 4～14日220円 15～31日210円で平均銅価は216.8円でした。1月の電気銅建値は210円でスタートしました。従って1月の魁基準建値は $(216.8 + 210) \div 2 = 213$ 円40銭となります。価格帯は250円以下の欄で前月と同様で変わりません。



NO. 218

発行11年2月1日

2月3日は節分である。季節の変わり目には邪気が生じ災禍をもたらすと考えられたことから、厄年の善男善女によってそれを追い払う豆まきの行事が日本の風物詩となってきた。最近では14日のバレンタインデーのチョコレートに押されっぱなしのようだが、今年はバレンタインデーが日曜日と重なったこともあり、少し様子が変わりそうである。貯金通帳をみれば利息の少なさにためいきをつき、買物をすれば消費税の高さに驚く。減給やリストラなど暗い話ばかりだから、せめて豆をぶつけて「福は内鬼は外」と大きな声でうさを晴らしたいものだ。

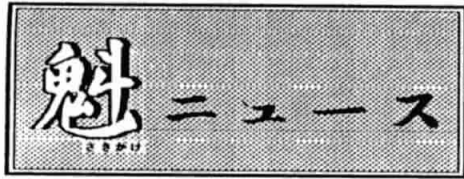
電気銅建値が200円と1950年以来の新安値になった。銅板はステンレスより安くなってしまった。供給過剰の解消は2001年以降と予測されており、銅価の低迷は長く続きそうである。この安さを活用してせいぜい銅を使っていたらいいと思う。また、屋根に使う場合も耐久年数を長くするよう0.4mm以上のものを使っていたらいい。魁ニュース200号でふれたが、大阪城の屋根は0.5mmで葺かれ65年を経て8割りのものが再使用された。まだ5~60年は充分耐久する評価の上であることは言うまでもない。

昨今、酸性雨の影響で銅板が思ったより早く穴があくという話が多い。谷とい、軒樋、瓦の下などでは確かにそういう事実に出くわしているが、それ以外の所では聞かないし見ていない。いずれにしても安いんだから板厚を厚くすることをお勧めしたい。

今、銅屋根工事をする人が銅板の裏に年月日と電気銅建値を書き込んでおいたら、何十年後かにこれを見た人は腰を抜かすかも知れない。ひょっとすると電気銅建値っていったい何じゃということになってるかもしれないが…。銅やねにタイムカプセルの夢を託すのも面白い。

☆ 2月の魁基準建値は200円/kgです。

1月の電気銅建値は4~6日210円7~31日200円で平均銅価は201円50銭でした。2月の電気銅建値は200円でスタートしました。したがって2月の魁基準建値は $(201 \cdot 50 + 200) \div 2 = 200$ 円75銭、円未満切り捨て200円となります。価格帯は250円以下の欄で前月同様変わりません。



NO. 219

発行11年3月1日

今日から奈良のお水取りの行事、修二会が始まりました。草も芽吹きはじめ春の訪れがまじかにきていることを感じるこのごろです。

景気のほうは胎動を感じるという表現をされる方もいますが、私どもには残念ながらその実感がまったくありません。経済社会への春の訪れはまだまだ先のようにです。

しかし、業種や商品によっては底割れした価格の改善に真剣に取り組み始めるところが目につくようになってきました。一例をあげればステンレス板条です。リストラのうつべき手をすべてうちつくしも、赤字から脱却できぬ状態を改善するため残された最終対策を撃たねばと、値戻しの動きが出てきました。建材用銅板条にも遅かれはやかれこのような動きが出てまいることでしょう。川上のトラブルは川中、川下へ及ばずにはすみません。素材産業が健全な状態に戻ってもらわないことには、日本経済の再活性化も実現しません。ここでは無闇に抵抗するのではなく協力して、御取引先にご理解いただくよう努力することが肝要であろうと思います。

プロ野球のオープン戦が始まりました。キャンプの話題が西武にはいった松坂投手と阪神タイガースの野村監督の二人に集中した観がありますが、二人ともファンの期待にできてくれそうな予感がします。私たちの仕事の上でも、そんな期待への予感を感じることが出来るようになるには、自助努力で頑張るしかありません。待っていても何も出てきません。やったらやったことの10分の1でも答えが返ってくる。景気の冬を自分の行動で吹き飛ばしましょう。

☆ 3月の魁基準建値は200円/kgです。☆

2月の電気銅建値は1～8日200円9～14日210円15～28日200円で平均銅価は201円57銭でした。3月の電気銅建値は200円でスタートしました。

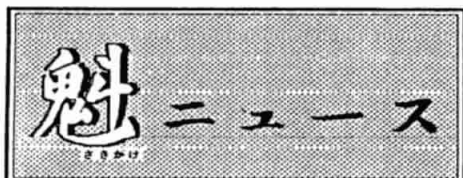
したがって3月の魁基準建値は $(201 \cdot 57 + 200) \div 2 = 200$ 円78銭となり円未満切り捨て200円となります。魁の価格帯は250円以下の欄で前月同様変わりません

☆ 銅屋根材 20円値戻し

三宝伸銅工業は3月17日銅屋根材の値戻しを表明した。3月値決め分として1次問屋向けロールマーヅンをキロあたり20円引き上げ、今後さらに段階的な値戻しを図りたい方針である。値戻しの背景はまず需要低迷下でのコスト高。同社によれば、銅屋根板の需要はピーク時の月間3000トンに比べて、現在は1500トン程度へと半減。さらにユーザーの小ロット、短納期といったニーズに応えるためのコストアップ要因が重なりメーカー数が淘汰されるほどの収益難に陥っている状態にあり、加えてベースとなる電気銅建値が現行トン20万円と昭和25年9月以来、実質的な史上最安値に落ち込んでいることを考えれば、現時点でロールマーヅンのキロ20円の値戻しを行なっても、建材問屋や銅屋根材を使用するユーザーはまだ史上最安値で購入できる。そのほか、カラーステンレス鋼板などと比較した場合、材料代は割安であり、耐久年数も長く、さらにメンテナンス不要、またスクラップが高価格でリサイクル可能で、今後の環境問題、リサイクル問題といった面からも見直されてよい材料である。同社では今回の値戻しを機会に日本銅センターとタイアップして、銅屋根板の普及、PRに一段と力を入れていきたいと表明している。

☆ 4月の魁基準建値は202円

3月の電気銅建値は1～4日200円、5～14日210円、15～25日200円、26～31日210円で推移し平均銅価は204円55銭でした。4月の電気銅建値は200円でスタートしました。従って4月の魁基準建値は $(204.55 + 200) \div 2 = 202$ 円27銭円未満切り捨て202円となります。価格帯は250円以下の欄で変わりません。



NO. 220-1

発行11年4月1日

桜花爛漫の春がきた。草花も一雨ごとにグングン伸び膨らむ。膨らむのは心地よいが縮むのはつらいものである。今の世は縮むことが多すぎる。しかし、縮まないことには身が持たないから致し方ない。ところが、お役所だけは一向に縮んでいない。行政改革の声はあれど、姿が見えてこない。官営でないとどうにもならないことだけに絞り込んで、あと民営化をどんどん進めていくべきである。さすればお役人が減り議員の数が減り権益に群がる悪い奴を減らすことになる。税金を減らす一番良い方法はお役所がすることを減らすことなのだ。民営化すると無料だったものが有料になる。それを理由に反対する声があがるが、選択の幅を広げることになり、マクロ的には大きなメリットをもたらす。

卑近な例をあげるとゴミの問題。環境ホルモン物質のひとつダイオキシンなどで最近地方自治体にゴミの分別化を推進するところが増えてきている。過剰包装の氾濫でゴミの発生量は年々上昇するばかりでその処理にどこも頭を抱えている。燃やせるものは燃やして、燃やしきれないものは埋めるのが処理の基本らしいが、ダイオキシンが発生しないようにするには高温化が必要であり、炉の改善や燃料のコストアップを伴う。そのため、ゴミの分別化が必須になりゴミ袋を透明化し燃えるゴミも生ゴミ、紙類、プラスチック類に分けて出すように指示するところが増えてきている。奈良市は7つに分類しなければならなくなり主婦にとっては負担が増える。我が家でも同じことを言っている。タダで持ってかえてくれるのだから、それぐらい当たり前のことだと言ってるのだが、今まで燃える燃えないの2分類だけですんでいたものだから、たしかに厄介である。これも、まず先に有料制があって、つぎに分別して出してくだされば安くしますよなら抵抗も少ないはずだ。家庭のゴミも有料にすればゴミを減らして出費を抑える動きが社会化する。過剰包装は嫌われ簡素な包装が歓迎されるようになる。それは資源の節減になり環境保全につながる。又民営化はリサイクル問題にもさまざまな経済効果をもたらすだろう。

官が民同様本気になって縮む努力をすれば、必ずや苦しみのあとに喜びがくると思う。

☆ インターネットのホームページ を開設しました

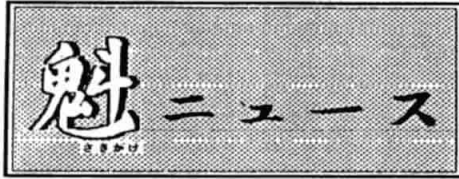
ホームページのアドレス

<http://www.dl.dion.ne.jp/~ymsc/>

電子メールのアドレス

ymsc@dl.dion.ne.jp

魁、はやぶき、シャダンルーフなど、弊社製品の概要を掲示しております。
ぜひ一度、ご覧ください。



NO. 221-1

発行11年5月6日

風薫る五月、自然の織りなす新緑の美しさはまさしく天の恵み、眼が洗われるおもいがします。若葉の萌える新緑は白緑、浅緑、萌黄などさまざまで、杉や桧の深緑のなかで輝いて見えます。4日を除いて晴天に恵まれ戸外に出かけられた人が多かったゴールデンウィーク、自然の恵みを満喫されたかたもさぞ多かったことでしょう。

私も（関西から日帰りできる温泉ガイド）を ひっぱりだし、娘夫婦、家内の4人で奈良県吉野郡川上村の入之波（しおのは）温泉へでかけた。片道約80キロ、ナビゲータをセットして走る。桜の名所吉野を過ぎると、山道に入り新緑の多ご馳走である。大滝ダムの工事に伴って新しい道やトンネルができていて、ところどころ車はナビゲータの道を外れ、空を飛んでるようになる。前に来たときはあの道を走ったんだと谷底の道を指差しながら進むと満々と水を貯えた大追ダムにさしかかる。ダム堤を渡り、ダム沿いの細道をゆっくり進む。くねくね曲がってるうえに、片側はダム、落ちたらお陀仏、正面衝突注意の立て札がところどころ立ってるから緊張する。3キロほどそんな道を走って、村落10戸ほどの入之波温泉につく。ダム釣り公園があってたくさんの太公望が釣り糸をたれているのを眺めながら弁当をひらく。ブラックバスがつかれるらしい。温泉は鳩の湯と宿泊施設もととのった五色湯のふたつがあるが、鳩の湯は建物も古く、元湯と書いてあるのでそちらにする。入ったところに猪の剥製がおいてある。わたしの兄弟の歓迎だ。入湯料は600円だ。湯質は炭酸ナトリウムで茶色い。噴出温度は39度というからすこし沸かしているのだろう。湯疲れをしばし癒して帰路についたが、思い出すのは先年渋滞に出会ったことである。幹線道路の渋滞を避けてすいていそうな道を選ぶことにした。吉野をさけ以前来たことのあるグランデージC・Cを経て福住インターをよこぎりヤマトC・Cへゆく道をたどり奈良市内へはいった。ここで威力を発揮したのがナビゲーターである。はじめて走る道、それも地道で対向車をかわす道幅もなく、ゴミ処理場のみとなれば、この道でいいのだろうか、迷ったんではなかろうかなどと不安になるものである。ところがナビゲーターのおかげでまったく安心して走っていけるのである。これはドライバーにとって大層心強い味方である。おかげで西名阪道路の渋滞も関係なくまったくスムーズに帰ることができた。

いまのところ、案内はおおむね距離的に近い道を基準にしてるようで、地図に詳しいところを走る場合適切な案内と思えない場合もあったりするが、知らないところではじつに頼りになる。このての機器は日進月歩だから情報量はさらに増え、早くいけることを基準に案内できるようになるだろう。日帰りで楽しめる温泉は山ほどある。暇を見つけ鄙びた温泉を探索するたのしみがあった。よければご一緒にいかがですか。山里には結構美味しいものや珍味があるんですよ。

☆ 5月の魁基準建値は215円

4月の電気銅建値は1～7日200円8～19日210円20～30日220円平均銅価は211円42銭でした。5月の電気銅建値は220円で始まりましたので5月の魁基準建値は $(211.42 + 220) \div 2 = 215.71$ 円未満切り捨て215円になります。価格帯は250円以下の欄で前月同様変わりありません。



発行11年6月1日

借金も人員も過大、過小なのは売り上げというのがいま、多くの企業が抱えている大きな悩みである。リストラで人減らしはできても借金はいっこうに減らない。売り上げが落ち込んだままで回復しないから利益がでない。資産を処分したくても買い手がなかなか見つからないし、思うような価格で売れない。いまや八方塞がりの状態に陥っている。3～4月に動意をみせた株式市場も5月には外人売りに値を消してしまい元気がない。ハウスメーカーの受注残が増えはじめた、マンションが売れているなどの話を聞くと、売手側が購買欲をひきだすための、いわゆるためにする話ではないかと疑いたくなる。昨年売り上げを落とし本年さらに落ちているところが多いのである。底割れの本番はこれからで、廃業や倒産が本年後半から来年にかけて一段と増加するだろう。避けようにも避けられぬことになりそうである。

まもなく梅雨にはいる。ジメジメしてカビが生えやすくなる。空気が澱むとなおさらに風通しを良くしておかねばならない。企業でいうならハウレンソウである。報告・連絡・相談・要はコミュニケーションを良くすることである。悪いことは報告しない、面倒だから連絡しないではカビが生えてきて煮ても焼いても食えなくなる。ハウレンソウをしっかり食べて、常に風通しを良くしておくことが肝要である。

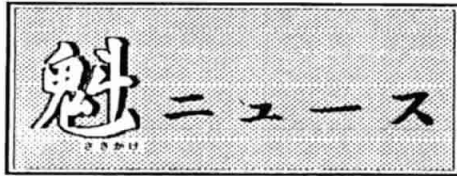
☆ 6月の魁基準建値は217円

5月の電気銅建値は6～10日200円11～20日230円21～31日220円で推移し平均銅価は224円44銭でした。6月の電気銅建値は210円で始まりましたので魁基準建値は $(224 \cdot 44 + 210) \div 2 = 217 \cdot 22$ 円未満切り捨て217円になります。価格帯は前月同様250円以下の欄で変わりません。

☆ 「はやぶき」にチタン新登場

ゴルフクラブや眼鏡フレームなどでお馴染みのチタンは軽く・強く・錆びないなどの優れた特性から、航空宇宙、化学、電力等の分野はもとより、建築、土木、医療、民生品まで急速に需要の裾野を拡げています。屋根材としても抜群の高い評価を得て多くの建造物に使われています。弊社では、このたび、新日鉄のご協力のもと屋根用チタン条および成型品の販売に取り組むことにいたしました。

厳しい価格競争のもと、より低廉な商品を求める傾向が強い一方、最上のものを求める需要も存在するはずで、我々は高い品質と迅速な納品そして適正な価格でチタンの普及に貢献したいと願っております。皆様のご用命をお待ちしております。



NO. 223

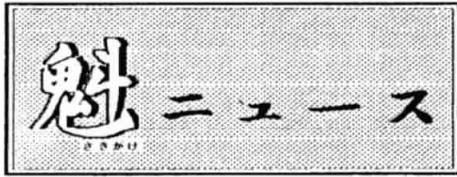
発行11年7月1日

梅雨晴れの夕茜してすぐ消えし (高浜虚子)

よく降りました。ふりしきる雨に大地は洗われ緑は一際鮮やかに輝いています。日本は世界的にみて雨の多い国で年間降雨量はおよそ1600ミリ、世界平均の1000ミリを六割も上回っている。湿潤な気候のため、蒸発で失われる水は少なく、多くの部分が地表を流れたり、湖沼にとどまったりする。資源として活用できる水の量は豊かで恵まれている。美味しいお米がとれる豊草原の国である。しかしふんだんに使うことを湯水のごとく使うと譬えるがごとく、私たちは恵まれてるがゆえに雨水の恵みを殊更意識することもなく、雨を喜ぶより嫌うほうが多いのではなかろうか。梅雨の長雨も嫌われている。降って欲しい時にほどよく降ってくれる雨が一番有り難いがそんな手前かつては許されない。どかっと降ったときそれを貯え干天に備える保水能力を高めることが肝要である。秋田県でハタハタが獲れなくなった理由を調べたら、森林伐採で山々の保水力が落ち、河川の濁水がいききに海へ流れこむようになって、ハタハタが産卵する場所が石灰化していったことが大きな理由であることがわかっている。戦後の日本の林業政策が杉の植林に偏った弊害が保水力低下を齎らしているとも聞いている。森林が海の魚を育てるがごとく、自然の営みは有機的ですからすべて意味あることばかりである。

☆七月の魁基準建値は220円です

6月の電気銅建値は1~30日通して210円でした。7月の電気銅建値は海外市況の急騰を反映して20円上がり230円でスタートしました。したがって7月の魁基準建値は $(210+230) \div 2 = 220$ 円になりました。魁の価格帯は前月同様変わりません。



発行11年8月1日

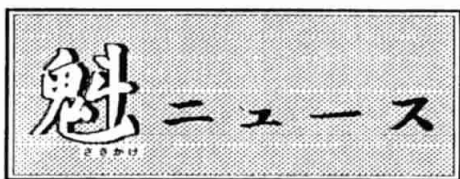
7月21日関西は梅雨が明けた。去年とおなじ日である。夏休みにはいると土日の高速道路は結構混んできて、事故が起きるとすぐ渋滞が発生する。車での移動は相当余裕をみておかないとイライラが高じ次の事故を呼ぶ。一番左端の走行禁止帯を走って少しでも早く前へ進もうとルールを無視して突っ走る車も多く、自分さえ良けりゃとルールを守らぬ輩が出てくる。恥かしながらこのての人種は大阪には多いのである。

さて鉄二業界を取り巻く状況は本年に入っていちだんと深刻になってきている。落ち込んだ昨年の売上げをさらに下回っているところが多い。この業界は公共投資による景気テコいれ効果によって建築・建設の需要が大きく落ち込まずに推移してきたため、遅れてやってきた大不況の真っ只中に入っているのである。税金不足で国の財政も地方自治の財政も資金不足をきたし多くの計画が凍結され、一方民間の設備投資が減少するなかで、物件は極端に少なくなり、まさしく飢餓状態にあるため多少の損は覚悟でやるところがでてくる。これはもう、尋常な世界ではない。昨年の暮れの保証協会の融資で延命した企業のなかに、限界にきているところも多くあろう。

8月1日付の日経に掲載されていたが三菱伸銅、神戸製鋼、三菱マテリアル3社が銅・銅合金条の原料・圧延・物流などの分野で業務提携すると発表した。国際的な価格競争に勝つにはコストダウンを一層推進するとともに、いたずらにシェア争いに明け暮れ、体力を消耗してはならないと認識するところから、このような新しい動きが始まる。リストラクチャー、構造改革とはこういうことでもある。人を減らしたり資産を処分することだけではないのだ。

☆ 8月の魁基準建値は232円/kgです

7月の電気銅建値は1～6日230円7～21日240円22～30日230円で推移し平均銅価は234円76銭でした。8月の建値は230円でスタートしました。従って8月の魁基準建値は $(234.76 + 230) \div 2 = 232.38$ 円未満切り捨て232円となり、価格帯は250円以下の欄で変わりません。



NO. 225

発行11年9月1日

「残暑とは かゝる日のこと 庭を掃く」(星野立子)

朝夕が少々凌ぎやすくなってきたものゝ、日中はまだまだ残暑厳しきものがあります。8月は休みが多く、実働日数が少ないこともあって、売上が減り、気が滅入ってしましますが、秋の新学期が始まって、夏の制服の小学生が通学する姿を久し振りに目にすると、心機一転、収穫の秋に向けて頑張らねばとファイトが出てきます。

しかし季節の変わり目、何となしに身体にけだるさを覚えるのもこの頃です。夏の暑さについ冷たい飲物を多く取り胃腸を痛めたり、涼風を直接長時間肌に当てゝ身体を冷やして代謝機能を狂わしていたり、クーラーのよく効く部屋で長時間座ったままで腰をわるくしたりとか様々な傷害を訴える向きが増えるのもこの頃の特徴です。

83才で「養生訓」を書いた貝原益軒はその著で身体を冷やすことの害を説いています。酒に関しても夏冬とも冷酒でなくほどよく温かい酒をほどよく飲むように言ってます。変な話で恐縮ですが、私も今夏、去年までと異なる体験をしました。下戸ですが、夏はやはりビールの喉ごしの美味しさに惹かれ晩酌はビールになります。去年までは就寝前トイレにいきますと翌朝迄目が覚めることはなかったのですが、今年は3時間位おきに尿意を催して目を覚まします。前立腺肥大の趣きも年相応にありますが、どうもそれだけではなさそうで、晩酌がビールでなく燗酒の場合は朝まで目が覚めないのです。以前よりビールに利尿作用があることは聞いてましたが、やはりビールの冷たさが身体を冷やすからですね。年相応の養生を考えるならば、夏もほどよき量の燗酒というのが今年の体験から得た養生訓であります。

人生五十といわれた時代に、84才の天寿を全うし経験知を基に「養生訓」を著したのが83才と言われる貝原益軒が、もし現代の人であるならば優に100才を超えて「嬰鏢」の人でありましょう。

彼が説いた養生法の第一は内まる欲望(飲食の欲、好色の欲、眠りの欲、言語をほしいまゝにする欲、喜、怒、憂、思、悲、恐、驚の七情の欲)をこらえて少なくし、邪気(風・寒・暑・湿)を恐れて防ぐこと、即ち心を常に平静に保ち、欲しいまゝにせず、すべてを控え目にすることです。かの有名な接して洩らさずもこの考え方を具体的に説明した一例ですが、六十歳を超えた方には巻八の養老を一読されることをお勧めします。ご関心ありますればお申し付け下さればコピーをさしあげます。

時節柄、ご自愛をお祈り申し上げます。

☆ 9月の魁基準建値は222円/kgです

8月の電気銅建値は1~18日230円19~31日220円で推移し、平均銅価は225円90銭でした。9月の建値は220円でスタートしましたので、9月の魁基準価格は(225.90+220)÷2=222円95銭円未満切捨て222円となります。魁価格帯は250円以下の欄で前月同様変わりません。



NO. 226

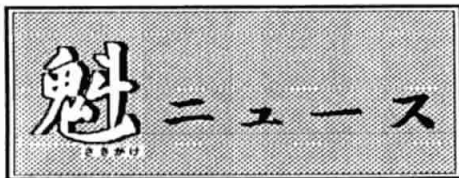
発行11年10月1日

9月24日、九州に上陸した18号台風は暴風雨や高潮の被害を熊本、大分、山口、島根県などに齎らした。被災を蒙られた方々には心よりお見舞いを申し上げます。海外では台湾が阪神大震災より強い激震に襲われ、2,000人を超す人が亡くなり、建物の崩壊はもとより停電や設備の損壊による操業停止など莫大な損害が出ている。トルコ、ギリシャ、台湾と続き日本にだんだん近づいてきているので無気味である。ひょっとしたらひょっとするかもと、不安がよぎる。おりしも2000年問題で年始の予期せざるトラブルの発生を云々するむきもあるが、そんなことを惟ると災害に備えた対策を講じておくべきだろう。備えあれば憂い無しだ。一般には生産や物流のトラブルに備えて数日分の在庫の積み増しをするところが多い。家庭ではどんなことをしておいたら良いだろうか。まず、食料品と飲料水の数日分の備蓄、それに停電対策が肝要である。調理ができなかった時お手上げにならぬよう代替エネルギーを確保することも大事である。情報源には携帯ラジオが便利だろう。

話は変わるが、こしばかり円高が進み100円をきる可能性もでてきた。アメリカの証券市場の騰勢エネルギーが減退し下落の危険が増してきたため、投資マネーが日本の証券市場に動き始めたのも要因のひとつと言われている。為替の動きの激しいのはそれ自体マネーの利殖の場である以上避けがたいことで、安定より波乱を好むものであり、行き過ぎることはままあることである。このたびの円高は底をうち横這いから上昇をうかがおうとしている日本経済にとっては水をさされる感じで歓迎できることではなさそうである。最近、日本の低金利に愛想がつきて外貨預金をする人が増えてきている。利率は高く魅力があるが、為替手数料（少額の場合結構高い）が必要であり、為替変動のリスクが伴う。良いタイミングでやれば利率プラス為替差益で高利回りが期待できるし、逆にまわれば元本割れも起こり得る。まだまだ低金利が続く状況のなか、100円割れがあればこれはグッドタイミングであろう。

☆ 10月の魁基準建値は229円/kgです

9月の電気銅建値は1～5日220円6～30日230円で平均銅価は228円50銭でした。10月の電気銅建値は230円でスタートしましたので10月の魁基準建値は $(28.50 + 230) \div 2 = 229$ 円25銭円未満切り捨て229円になります。価格帯は前月同様250円以下の欄で変わりません。



NO. 227

発行11年11月1日

今年もあますところ2ヵ月となり、2000年を迎えようとしている。この1年を総括してみよう。

まず第一は、金融を中心にして規模のメリットとコスト低減による競争力の増強を目指した大合同が過去のしがらみを越えて進みだしたことである。旧財閥の枠をはずし、競争力を高めねばグローバル資本主義社会で勝者として生き残れない時代になってきたことがはっきり見えてきたからである。

第二はe革命である。eはelectronic（電子）を示す符号であるが、インターネット革命と言ったほうが解り良い。パソコンの普及が進み、通信のデジタル化が進み、加入者が2000万人（複数のプロバイダー<接続事業者>に加入してる人が結構いるので実数は可成り減ると考える）近くになってきて普及が加速してきた。ネット取引はまだ黎明期に入ったばかりであるが、先進国アメリカでは既に3兆円の規模になっており、日本もネットによる株式の売買手数料が従来の10分の1程度の手数料で済むことから利用者が急速に増加すると考えられ、又、商品やサービスを提供する企業側ももはや既存のルートとの調整に躊躇しておれなくなっており、急速にネット市場が立ち上がっていくと思われる。

以上、二つの大きな変革は情報、通信技術の進歩によるもので、文字や数値や画像による情報の伝達が瞬時に世界を駆け巡る時代になったからこそ起こってきている変革だと言えよう。この変革はいまや大きな波となって伝わり世界を大きく変えようとしている。この波の発生源はアメリカだ。特許をおさえ、情報技術革命の覇者となり、世界の冠たる地位を確立する戦略は見事成功をおさめている。

もうひとつ、携帯電話のことに触れなければならない。いまや中高生がみんな持つ携帯電話。友達との会話はe・MAIL、これだと電話代も安く小遣い銭でまかなえるらしい。この携帯電話が2001年には単なる電話から脱皮してパソコンの端末として使えるようになるそうである。ますます普及が高まり、必需品のレベルに達するであろう。

さて、この一大変革についていけますか。正直言ってわたしはついていけない。団塊の世代以上の多くはそうでなかろうか。第一の企業大合同にあってはリストラの対象の年令で第二のネット社会で必須のパソコンは使いこなせんし、携帯は持ってても遊び道具にしてない。しかし、我々の次の世代はこれらの変革に抵抗なく、むしろ自己実現のチャンスととらえて積極的に取り組んでいる。

今、私たちはチョンマゲから断髪に変わった明治維新と同様の大きな変革期に出会ってい

ると考えられよう。いつまでもチョンマゲで意地をとおすのも結構窮屈だろうから、おそまきながら断髪しようかなと迷うこの頃である。

☆” 11月の魁基準価格は221円/kgです

10月の電気銅建値は1～11日230円12～31日220円で推移し平均銅価格は223円でした。11月の建値は220円で始まりました。したがって11月の魁基準建値は $(223+220) \div 2 = 221$ 円50銭円未満切り捨て221円になります。価格帯は250円以下の欄で前月同様変わりません。



NO. 228

発行11年12月1日

「日おもてにあればはなやか冬紅葉」 (日野草城)

12月にはいると山野を彩った紅葉もおおかた散ってわずかになってくるが、晴れた日にはまだまだ結構眼を愉ませてくれる。

「すぐに火にしたくて拾う杉枯葉」 (甲田鐘一郎)

子供のころ田舎では炊飯はもっぱらかまどで、火付きの良い杉枯葉を近くの神社やお寺の境内で拾い集めた。はじめチョロチョロなかパッパ。こげめしのおにぎりがうまかったなあ。

月日の経つのは早いもの、本年も残りわずかになりました。いよいよ、2000年に入るので、コンピュータの誤作動で何が起こるかかわからず、そのための備えに大わらわの様相を呈していますが、備えあれば憂いなしという諺どおりになればめでたしめでたしであります。

そろそろ10大ニュースが新聞紙上を賑わすところです。都銀大手の合併、財閥の垣根を越えた提携、リストラによる失業率の上昇など、経済面では大変革の時代を反映し話題に事欠きません。社会面ではジベタリアン、男性のピアス、猫も杓子も携帯電話、この三つが目立ちます。若者には連帯の証?かもしれないが、この風俗はいただけません。

社会的な規範が崩れて個人の行動や欲求が無規制になる状態を社会病理学でアノミーと言う。人々の日々の行動を秩序づける共通の価値や道徳が失われて混沌とした社会で、唯一企業社会にはそれが存在していたが、それもリストラの蔓延で崩れてきている。ヤクルトの副社長が財テクのリベートを私腹脱税したこと、捜査で入手したネガを持ち出し女子大生に肉体関係を強要した警察官、変な宗教団体がはびこること、不倫や離婚が多いこと、東海村の臨界事故等々すべてアノミーと言えましょう。日本の未来を希望に満ちたものにするには荒廃した教育制度を抜本的に改革することが景気対策などよりはるかに重要な緊急課題だと思うが、さていかがなものでしょう。

最後に、本年皆様より賜りました絶大なるご愛顧にこころより厚くお礼申し上げます。どうか来る年も引きつづきご指導ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

☆” 12月の魁基準価格は220円/kgです

11月の電気銅建値は1～30日220円で終始しました。12月の建値も220円でスタートしました。12月の基準建値は220円になります。価格帯は250円以下の欄で前月同様変わりません。